

日本刀（相原泥舟）

此は 是れ 伝家の 大宝刀

斬人 斬馬 劍名 高し

白光 紫電 玲瓏 たるの 刃

三尺の 鋒鋦 百鍊 豪たり

此は傳家大寶刀 斬人斬馬劍名高
白光紫電玲瓏刃 三尺鋒鋦百鍊豪

解説 日本刀の美しさと、武器としての堅牢さとをたたえた詩。

語釈 ※伝家Ⅱ代々その家に伝わること。※大宝刀Ⅱ宝物として大切にしている刀。※斬人斬馬Ⅱ人も馬も一刀で切り捨てる様な斬れ味鋭い名劍の意。※白光紫電Ⅱ白い閃光と紫の雷光。どちらも日本刀の閃きの形容。※玲瓏Ⅱ玉のように鮮やかで美しいことこの意。

※三尺Ⅱ劍をいう。刀劍の刃の長さは、通常三尺を規準とすることから、このようにいう。※鋒鋦Ⅱほこさき。きつさき。刃物の先端。

※百鍊Ⅱ金属を何度も焼き鍛えて、密度の高い上質なものにすること。

通釈 この刀は代々伝わる大宝刀である。斬人、斬馬の如く、この刀の名は高い。一旦、この刀を振り下ろすと、閃光や稲妻の様はその光は玉石の様に鮮やかで美しく、正に鍛えに鍛えた三尺の刀である。